



「安全基地」の役割について思うこと

「基地」というと…

辞書を引くと、「基地」というのは、「(探検などの)行動を起こす根拠地」と書かれています。さらに、「根拠地」を調べてみると、「目的通りの行動を行うのに必要な態勢を整える場所」とあります。まとめてみると、「安全基地」とは、「目的通りの行動を行うのに必要な態勢を整えるための安全な場所」となるのだと思います。

「安全基地」になりたい…

専門家によると、「恐怖、不安、怒り、悲しみのようなネガティブな感情、すなわち嫌な気持ちになったとき、誰かが大丈夫だと守ってくれる」という働きをするのが「安全基地」なのだそうです。学校では、教室が、学校そのものが、そして教師自身が子供たちにとっての「安全基地」でありたいと努力していますが、人と人が心の深いところにつながらなければ、そうはなり得ないので、一朝一夕にできることではありません。まさに日々の積み重ねです。

「帰りたくなったよ」 by いきものがかり

♪ 帰りたくなったよ 君が待つ家に
♪ 聞いてほしい話があるよ
♪ 笑ってくれたら嬉しいな



いきものがかりの曲に、こんな一節があります。子供たちが、今日一日の出来事の中から、いいことも悪いことも、嬉しかったことも悲しかったことも、「そうだったのね」と温かく包み込むような優しさで聞いてもらえるホーム(安全基地)へ走って帰る姿を想像するだけで胸が熱くなります。

「誰かが私を確実に守ってくれる」

そんな安心感があったら、子供たちは明日を生きるパワーが湧いてきますよね。

やはり、「子供たちがそう思えるような安全基地になりたい。」と思うのです。 ~校長のひとりごと~



6年生、ありがとう！

ある日の昼休み。コンコンコン。校長室をノックする音。

「誰かな？」

扉を開けてみると、そこには緊張した面持ちの6年生が立っていました。

その6年生は、「校長先生、卒業を前に、よつば小学校をきれいにしたいのですが、きれいにしてほしい場所がありますか。」と、背筋を伸ばし、礼儀正しく質問するのです。

突然の質問に、少々慌てながらも「みんなが使い、よつば小学校にしかない『よつばホール』をお願いします。」と答えました。

その子は、ほっとしたのかいつものかわいらしい笑顔を見せ、「分かりました。」と爽やかに答えるとはつらつとした表情で「失礼しました。」と挨拶をして校長室を出ていきました。

毎年のことかもしれませんが、母校への愛情をこのような形で表してくれることは、嬉しい限りです。活動の様子をそっとのぞきにいきたいと思っています。6年生、ありがとう。